



えのしろ

よっかいちしりつみえきたしょうがっこう
四日市市立三重北小学校

れいわがねん がつ にちほつこう
令和元年9月18日発行

がっこうもくひょう 学校目標 ゆたかな心 をもち、ともに学び合う子どもの育成



2学期が始まって2週間が過ぎ、子どもたちは、学校生活に馴染んできました。
2学期は自然教室や修学旅行、三泗小中音楽会、文化フェスティバル、持久走大会等大きな行事がたくさんあります。どの行事も「学びの場」となるように目標を持ちながら、友達と力を合わせながら、企画・運営をしていきます。終わった後も振り返り活動を取り入れて実りあるものとしていきます。

校内作品展

夏休み校内作品展がありました。子どもたちの作品は、アイデアが面白かったり、細かいところまでいいに作成してあったりしてありました。どれも力作でした。子どもたちは、「本物そっくりで、今にも動き出しそうだ。」と鑑賞した感想をカードに記録していました。



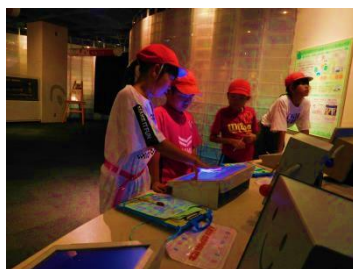
避難訓練

9月6日(金)は、避難訓練がありました。今回は、「南海トラフ地震発生。四日市市においても震度6の強い揺れを記録した。校舎から運動場につながる階段が崩壊した。」という設定で行いました。避難場所が南庭に避難することにしました。子どもたちはよく放送を聞いて、速やかに避難することができました。



5年生社会見学

12日(木)に、5年生が、社会見学に行きました。見学場所は、東邦ガス ガスエネルギー館とトヨタ自動車高岡工場です。ガスエネルギー館では、テーマコーナーを回りながら「環境とエネルギーの関わり方」について学ぶことができました。トヨタの工場では、車が組み立てられる様子を実際に見ることができました。翌日、しおりやパンフレットを参考にしながら、まとめをしました。



全国学力学習状況調査結果

I. 学力調査の結果からみられる特徴 *調査問題・解答は、文部科学省のHPに掲載されています。

国語科と算数科ともに全国平均を上まわる結果でした。

国語科において、領域別見ていくと、すべての項目で全国平均を上まわっています。中でも「話すこと・聞くこと」15.2ポイント上まわっています。記述式問題は、全国平均より10.5ポイント上まわっています。本校の強みです。

一方、漢字の書き取り問題は、全国平均より上まわっていますが、正答率は低いです。学習の中で、文章を書かせた後に誤字がないか確かめさせたり、既習漢字や新出漢字を使わせたりしていきます。

算数科では、領域別に見ていくと、すべてにおいて全国平均を上まわっています。特に、「量と測定」の領域は、全国平均より12.4ポイント高かったです。「記述式」の問題は、13.5ポイント高かったです。問題の解を式や図等を使って言葉で説明できることが本校の強みです。これは、日常の授業の中で「なぜ、このような式になるのか」「どのように計算すればいいのか」といった式の意味や計算の過程を大切にしながら授業を行っている結果ととらえています。

一方、弱みは、「数量や図形についての知識・理解」です。全国平均を6.6ポイント下回る結果となりました。

II. 児童質問紙の回答からみられる特徴

「毎日同じ時間に起きていますか。」「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。」「自分にはいいところがあると思いますか。」の項目では、肯定的な回答が全国平均よりそれぞれ8.5ポイント、6.7ポイント、11.6ポイント高いです。家庭との良好な関係が基盤にあり、基本的な生活習慣が定着し、自己肯定感も高いことがわかります。

その他、「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」「地域や社会をよくするために何か考えることがありますか。」についても肯定的な回答が全国平均をそれぞれ17.6ポイント、14.1ポイント上まわっています。地域に対しての意識がとても高いことがわかります。地域の方が、学校行事に足を運んでいただいたり、ゲストティーチャーとして参加していただいたり、四日市大学と連携した地域防災等行事が盛んに催されたりしていることが要因と考えられます。

学習状況については、「国語が好きですか。」「算数が好きですか。」の項目でそれぞれ3ポイント、6.3ポイント肯定的な回答が全国平均より高かったです。「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか。」「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。」の項目で肯定的な回答が全国平均をそれぞれ13.8ポイント、12.1ポイント上まわっています。これらから日常の授業の中で、課題づくりやともだちとつながる関係づくりの取組が学びに向かう力につながっていると思います。

また、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。」の項目に対し、肯定的な回答が10.4ポイント全国平均より上まわっています。家庭学習がしっかりと定着していることがわかりました。

「授業でもっとコンピューターなどのICTを活用したいと思いますか。」は肯定的な回答の割合が高いです。しかし、「5年生までICTをどの程度使用しましたか。」は、ICTの使用状況が全国平均に比べ低い結果となりました。調べ学習等でタブレットを活用して、情報活用能力を高めたいと思います。